

令和5年度(2023年度)事業報告書
 令和5年(2023年)4月1日から令和6年(2024年)3月31日まで

認定NPO法人 IVY

1 事業の成果

以下の通り事業を実施した。それぞれの事業の成果については、下記2に詳細を記載。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

① 世界の困窮した状況に対する迅速かつ適切な協力活動

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) (C)従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
イラク共和国 学校教育環境整備事業	【目標】 ニナワ県シンジャー地区のチャイシシガール小学校とザレファ商業高校、ドホーク県の実業高校4校の教育環境が整備される 【活動】 1. 元ザレファ小中一貫校の校舎の補修と引き渡し 2. 観光高校のPC教室の整備 3. ニナワ県実業高校と小学校・ドホーク県実業高校の資機材の整備 4. ニナワ県・ドホーク県実業高校教員へのキャリア教育指導研修 (外務省日本NGO連携無償資金協力事業)	(A) 2022/3/14 ～2025/1/13 ※注:本事業は、2021年度から2024年度にまたいで実施される。当該期間は2023/4/1～2024/3/31までである。 (B) イラク共和国ニナワ県、ドホーク県 (C) 4人	(D) イラク共和国ニナワ県、ドホーク県の児童・生徒、教員 (E) 849人	1,837
イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援	【目標】 エルビル県の国内避難民の子どもたちが避難生活下において安心安全な学習スペースが確保され、心理教育プログラム等の提供を通じてレジリエンス力を高める 【活動】 1. アルマーリ小学校プレハブ校舎建設 2. 教員のTiCC研修、対立解決研修、Social Emotional learning研修、およびセーフガーディング研修、児童に対する衛生教育と女子のための生理教育の実施 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2022/10/1 ～2023/11/30 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。当該期間は2023/4/1～2023/11/30までである。 (B) イラク共和国エルビル県エルビル市 (C) 5人	(D) イラク共和国エルビル県エルビル市の児童、教員 (E) 2,001人	13,133
イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援フェーズ2	【目標】 エルビル県の国内避難民の子どもたちが避難生活下において安心安全な学習スペースが確保され、心理教育プログラム等の提供を通じてレジリエンス力を高める 【活動】 1. アラオラ中学高等学校プレハブ校舎建設 2. 教員のTiCC研修、対立解決研修、	(A) 2023/1/1 ～2024/1/31 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。当該期間は2023/4/1～2024/1/31	(D) イラク共和国エルビル県エルビル市の児童・生徒、教員 (E) 3,236人	42,807

	<p>Social Emotional learning 研修、およびセーフガーディング研修</p> <p>3. 児童に対する衛生教育と女子のための生理教育の実施</p> <p>4. アルアラン小学校教員へのブラッシュアップ研修実施</p> <p>(ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>までである。</p> <p>(B) イラク共和国エルビル県エルビル市</p> <p>(C) 5人</p>		
イラク・紛争の影響を受けた子どもたちのためのやさしい教育環境整備事業	<p>【目標】</p> <p>ニナワ県シンジャール地区ハナソル町において、校舎建設及び教員研修を行い、故郷に戻った子どもたちが安心安全な学習環境で基礎学力を身に付けるとともに、逆境の中でも自分を大切に苦境を乗り越えるレジリエンス力を培う</p> <p>【活動】</p> <p>1. 校舎建設</p> <p>2. TiCC 及び心理社会的支援・ライフスキル研修</p> <p>(外務省日本NGO連携無償資金協力事業)</p>	<p>(A) 2023/3/31～2024/6/30</p> <p>※注:本事業は、2022年度から2024年度にまたいで実施される。</p> <p>当該期間は、2023/4/1～2024/3/31までである。</p> <p>(B) イラク共和国ニナワ県</p> <p>(C) 5人(提携団体3人)</p>	<p>(D) イラク共和国ニナワ県の児童・生徒、教員</p> <p>(E) 3,006人</p>	20,317
衛生事業	<p>【目標】</p> <p>エルビル県・ハーシャム国内避難民キャンプに暮らす女性の、生理に起因する感染症拡大を防ぐ</p> <p>【活動】</p> <p>・対象地域の20代の女性120人に生理用品を配布する</p> <p>(テルモ生命科学振興財団・医療貢献活動助成事業)</p>	<p>(A)2024/1/1～2024/4/31</p> <p>※注:本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施される。</p> <p>当該期間は、2024/1/1～2024/3/31までである。</p> <p>(B)エルビル県ハーシャム国内避難民キャンプ</p> <p>(C)6人</p>	<p>(D)エルビル県ハーシャム国内避難民キャンプの女性</p> <p>(E)120人</p>	33
イラク・エルビル県長期化する避難生活下における子どもへの教育支援フェーズ3	<p>【目標】</p> <p>エルビル県で避難生活を送るIDPの子どもたちに安心安全な学習スペースが確保され、子どもたちのレジリエンスが高まる</p> <p>【活動】</p> <p>1. アルサディーク小学校、アルサディーク男子中学高等学校、アルエルム・アルナーファ第2小学校、コバンディー小学校の校舎建て替え(1校舎)および教室の増設(4教室)</p> <p>2. 教員の衛生教育講師養成研修、児童に対する衛生教育</p> <p>3. 教職員研修</p> <p>(ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2023/10/22～2024/10/21</p> <p>※注:本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施される。</p> <p>当該期間は2023/10/22～2024/3/31までである。</p> <p>(B) イラク共和国エルビル県エルビル市</p> <p>(C) 5人</p>	<p>(D) イラク共和国エルビル県の児童・生徒、教員</p> <p>(E) 1,662人</p>	20,111
シリア北西部地震	<p>【目標】</p> <p>地震の影響を受けた国内避難民が、生きていくために必要な生活環境が整う</p> <p>【活動】</p>	<p>(A) 2023/2/8～2023/5/31</p> <p>※注:本事業は、2022年度から</p>	<p>(D) シリア・アラブ共和国アレッポ県の住</p>	1,489

	<ol style="list-style-type: none"> 1. シェルター(避難所)の設置 2. 食料配布 3. 暖房器具、灯油の配布 4. トイレの設置 5. 貯水タンクの設置 (クラウドファンディング事業)	2023 年度にまたいで実施される。 当該期間は 2023/4/1 ~ 2023/5/31 までである。 (B) シリア・アラブ共和国アレppo県 (C) 4 人(提携団体 4 人)	民 (E) 38 世帯と20か所の避難所の住民	
シリア・デリゾール県紛争の影響を受けた脆弱な若者のレジリエンス向上支援	【目標】 デリゾール県ケスラ地区で紛争の影響を受けた脆弱な若者が基礎的な学力と生計手段を身に付け、レジリエンスを高める 【活動】 <ol style="list-style-type: none"> 1. 就学できなかった 100 人の若者への初等教育の提供 2. 労働搾取のリスクにある 100 人の若者への職業訓練 3. 1, 2 の若者へのライフスキル、心理社会ケア支援 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2022/10/1 ~2023/9/30 ※注:本事業は、2022 年度から2023 年度にまたいで実施される。 当該期間は 2023/4/1~ 2023/9/30 までである。 (B) シリア・アラブ共和国デリゾール県 (C) 4 人(提携団体 18 人)	(D) シリア・アラブ共和国デリゾール県の若者 (E) 200 人	25,860
シリア・デリゾール県紛争の影響を受けた脆弱な若者のレジリエンス向上支援 フェーズ 2	【目標】 デリゾール県クスレ地区で、若者のレジリエンスが高まる 【活動】 <ol style="list-style-type: none"> 1-1.初等教育支援 1-2.職業技術訓練 2-1.ライフスキル教育 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2023/11/15 ~2024/6/13 ※注:本事業は、2023 年度から2024 年度にまたいで実施される。 当該期間は 2023/11/15~ 2024/3/31 までである。 (B) シリア・アラブ共和国デリゾール県 (C) 4 人(提携団体 11 人)	(D) シリア・アラブ共和国デリゾール県の若者 (E) 245 人	15,080
モロッコ中部地震・被災者支援のための初動調査	【目標】 モロッコ中部地震の被災者支援の案件形成を行うため、道路事情の悪い僻地や今後支援を求め避難者が集まる都市部を中心にニーズ調査を行う。また、現地提携団体の選考を行い、速やかに支援を実施できる体制を準備する 【調査内容】 <ol style="list-style-type: none"> ① 対象地の住民の概要 ② 対象地の概要 ③ 被災者をグループ分け(短期・長期的ニーズに配慮) (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	(A) 2023/10/4 ~ 2023/10/14 (B) モロッコ王国 (C) 3.3 人	(D) 調査のため裨益者なし	1,999

<p>モロッコ中部地震山間部の被災者への仮設住宅と水衛生設備の提供を通じた越冬支援</p>	<p>【目標】 モロッコ中部の山間部の地震被災地において、家を失った被災者に対し仮設住宅と水衛生設備、水衛生教育等を提供し、厳冬期の被災者の健康と尊厳の保持に貢献する</p> <p>【活動】 1-1. 現地政府との調整、現地提携団体との調整ニーズの再調査、事業説明会の実施 1-2. 仮設住宅と水衛生施設の建設 1-3. 施設維持管理と水衛生ワークショップ 1-4. モニタリング (ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2023/12/1～2024/4/30 ※注:本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施される。 当該期間は2023/12/1～2024/3/31までである。 (B) モロッコ王国アルハウズ州マラケシュ県 (C) 9.65人</p>	<p>(D) モロッコ王国アルハウズ州マラケシュ県の被災者 (E) 522人</p>	<p>65,872</p>
<p>コックスバザール県テクナフ郡脆弱世帯の女性のための生計向上プロジェクト(2年次)</p>	<p>【目標】 コックスバザール県テクナフ郡の脆弱世帯の女性の生計が向上する 成果1:農作物と養鶏の販売から得た収入が向上する 成果2:脆弱世帯の女性が公設市場への共同出荷を開始する</p> <p>【活動】 1-1. 裨益者選定 1-2. 農業技術研修 1-3. パイロットファームの敷設運営 1-4. 共同出荷体制作り 1-5. 共同出荷の実践と農業指導員と助手による巡回指導 1-6. 公設市場の運営管理 1-7. 2年次エンドラインサーベイ (外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業)</p>	<p>(A) 2023/1/1～2024/1/31 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。 当該期間は、2023/4/1～2024/1/31までである。 (B) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡ニラユニオン・ワイコンユニオン (C) 1人(提携団体21人)</p>	<p>(D) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡の脆弱世帯の女性 (E) 450人</p>	<p>28,520</p>
<p>コックスバザール県テクナフ郡中山間地域の小規模農家流通支援プロジェクト</p>	<p>【目標】 コックスバザール県テクナフ郡ワイコンユニオンの中山間地域の5つの区において、小規模農家の市場アクセス及び生産性が向上する</p> <p>【期待される成果】 1) 整備された道路を使用し、農産物の出荷が開始される 2) 共同出荷が開始される 3) 灌漑用水を使用した農産物栽培が可能になる 4) 受講農家の農業技術が向上する</p> <p>【活動】 1) 市場アクセスの向上 1-1. 道路整備 1-2. マーケティングの強化 2) 農業生産性の向上 2-1. ソーラーポンプシステムによる井戸の設置 2-2. 生産性向上研修 (外務省日本 NGO 連携無償資金協力事業)</p>	<p>(A) 2024/3/1～2025/2/28 ※注:本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施される。 当該期間は2024/3/1～2024/3/31までである。 (B) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡ワイコンユニオン (C) 1人(提携団体20人)</p>	<p>(D) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県テクナフ郡ワイコンユニオンの農民 (E) 0人</p>	<p>495</p>

<p>ウクライナ国内での応急手当対応者育成と医療機材等の支援</p>	<p>【目標】 ウクライナ国内での応急手当対応者養成と医療物資などの支援を通して負傷者の救命と心的外傷を負った人々の心の回復に貢献する</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師に対する多発性外傷に関する研修 2. 学校教員・看護師・宗教指導者等で避難民などを支援する立場の人々への心理的応急処置(PFA)研修 3. 医学・医療系学生等への応急手当トレーナー育成研修 4. 救急病院への医療機材・医薬品・消耗品の支援 <p>(ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2022/7/25～2023/6/30 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。 当該期間は2023/4/1～2023/6/30までである。 (B)ウクライナ国内8州 (C)4人(提携団体13人)</p>	<p>(D) ウクライナ西部・南部8州の国内避難民・住民</p> <p>(E) ① 126人 ② 248人 ③ 229人 ④ 3,600人</p>	<p>30,693</p>
<p>ウクライナ国内避難民の保健医療支援</p>	<p>【目標】 ウクライナ西部の国内避難民の大人および子どもの身体と心の健康が改善する</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染症の予防教育とサーベイランス 2. プライマリーヘルスケアサービスの提供 3. 心理療法士によるメンタルヘルス支援 4. 子どもたちの心理社会的支援 <p>(ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2022/12/1～2023/11/30 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。 当該期間は2023/4/1～2023/11/30までである。 (B) ウクライナ国ザカルパッチャ州 (C) 4人(提携団体12人)</p>	<p>(D) ウクライナザカルパッチャ州の国内避難民・住民</p> <p>(E) 9,186人</p>	<p>52,753</p>
<p>スロバキア・ウクライナ難民定住支援</p>	<p>【目標】 スロバキアのウクライナ難民が、他の難民や地域住民とつながりを持ち、新しい地域社会で暮らしていく</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スロバキア語と英語の学習機会の提供を通じた生活、就学、就業支援 2. レクリエーションや交流を通じた地域社会内での相互理解やつながりの促進 3. 都市部の脆弱世帯に対する現金給付を通じた生活支援 <p>(ジャパン・プラットフォーム助成事業)</p>	<p>(A) 2023/1/15～2024/2/14 ※注:本事業は、2022年度から2023年度にまたいで実施される。 当該期間は2023/4/1～2024/2/14までである。 (B) スロバキア国内 (C) 4人(提携団体13人)</p>	<p>(D)スロバキア国内のウクライナ難民</p> <p>(E) 2,187人</p>	<p>46,992</p>
<p>ウクライナ・紛争の影響を受けている地域に対する保健医療の提供と多発外傷における医師と地域の初期対応ボランティアの能力向</p>	<p>【目標】 戦闘地域に近いウクライナ3州での多発外傷者への初期対応能力強化と医療へのアクセス向上により、国内避難民、地域住民の身体的・精神的健康が改善する</p> <p>【活動】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ドニプロペトロウシク州での医療サービスと精神保健支援の提供 2. ドニプロペトロウシク州、ムィコラーイウ州、ザポリージャ州での多発外傷患者のケアに携わる医師に対する多発外傷ケア 	<p>(A) 2023/10/11～2024/6/10 ※注:本事業は、2023年度から2024年度にまたいで実施される。 当該期間は2023/10/11～2024/3/31までである。 (B) ウクライナ国</p>	<p>(D)ウクライナ国内3州の国内避難民、医療関係者、地域住民</p> <p>(E) 2,114人</p>	<p>35,810</p>

上支援	研修の提供 3.ドニプロペトロウシク州、ムィコラーイウ州、ザポリージャ州での負傷者の初期対応にあたるボランティアに対する応急処置研修の提供 (ジャパン・プラットフォーム助成事業)	内3州 (C) 5人(提携団体 19.5人)		
-----	---	---------------------------	--	--

②日本に定住する外国人への支援活動

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
通訳翻訳サービス	【目標】 通訳派遣を通して、言語による不利益を縮小し、基本的人権の享受に資する 【活動】 医療や行政、民間事業所などに通訳を派遣する	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 山形県内 (C) 19人	(D) 山形県内の通訳派遣/通訳依頼者 (E) 18人	118
通訳養成講座	【目標】 場面に応じて適切な通訳ができるよう通訳者を各言語・各地域で確保する 【活動】 ・法律分野(3回、うち1回は酒田市)、医療分野(1回)の通訳養成講座を実施 ・10言語話者が参加	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 山形県山形市・酒田市 (C) 3人	(D) 講座参加者 (E) 71人	102
多言語相談サービス	【目標】 外国出身者が母語で相談できる相談機関 【活動】 相談者の母語で相談を受け、情報提供、他機関へのリファー、必要に応じて同行支援を行う	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 山形県内 (C) 3人	(D) 山形県内の外国人 (E) 33人	4

③地球市民を育てる国際理解教育・環境教育

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)
ファシリテーション講座	【目標】 教育活動、市民活動が円滑に進み活動が活性化する 【活動】 ファシリテーション講座～国際理解教育・多文化共生活動に役立つ～を実施	(A) 2024/2/3 (B) 山形市 (C) 2人	(D) 山形市の大学生・市民 (E) 21人	119
開発教育ワークショップ等講師派遣	【目標】 IVYの活動や国際協力についての理解促進を図る 【活動】 学校現場や大学、他団体からの要請に基づき、ワークショップ講師を派遣する	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 東北6県 (C) 2人	(D) 東北6県の市民、学童・生徒・学生 (E) 280人	22

国際理解実践フォーラム等、他団体との連携	【目標】 他団体と連携し、国際協力・多文化共生・開発教育の東北における理解促進を図る 【活動】 1) フォーラム開催:「私を知る」 2) 開発教育協会の依頼で成人教育ワークショップを実施他講師派遣に関する説明会を JICA 東北で実施 3) 探求型学習への協力 4 件	(A) 2023/9/1～2024/3/31 (B) 山形市 (C) 1 人	(D) イベントに関心がある市民、学生、教員 (E) 20 人	38
----------------------	---	--	------------------------------------	----

④関連団体及び関係する県内、国際機関との情報交換、連絡調整及び協力、並びにこの法人の目的にかなう事業を行っている他団体に対しての助成援助

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
外務省 NGO 相談員事業	【目標】 東北の NGO 団体の基盤強化への相談対応、広く市民に対し国際協力活動についての理解促進を図る 【活動】 ・ 相談対応 ・ 出張サービス	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 主に東北 6 県 (C) 6 人	(D) 東北 6 県の NGO 及び市民等 (E) 444 人	1,642
【IVYyouth】海外活動新規プロジェクト	【目標】 バングラデシュ人民共和国コックスバザール県において、教育、防災、農業、栄養のいずれかの側面から支援活動を行い、生活水準の向上に寄与する 【活動】 1) 支援地の決定 2) 事業案の考案 3) 現地調査	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 山形県、宮城県、バングラデシュ人民共和国コックスバザール県 (C) 7 人	(D) バングラデシュ人民共和国コックスバザール県の住民 (E) (支援活動未実施)	349
【IVYyouth】国際理解推進活動	【目標】 ・ 国際理解に関心のある人を増やす ・ IVYyouth の活動を発信する 【活動】 1) 「高校生国際理解ゼミ」内で、出張ワークショップ「若者が国際協力をする意味」を実施 2) 新庄ジモト大学で、出張ワークショップ「サステナブルファッション」を実施	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 山形県、福島県 (C) 4 人	(D) 山形県、福島県の生徒・学生・市民 (E) 17 人	23

【IVYみやぎ】 広報・活動支援	【目標】 ・宮城県仙台市を中心にIVYの事業を広報することで、会員、支援者を拡大する ・クラウドファンディング等により資金を個別に募る事業に対して広報協力等を行い、目標額の達成に寄与する。 【活動】 2023年2月～2023年5月 シリア北西部地震のためのクラウドファンディングへの協力（「READYFOR」「コングラント」）	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 宮城県仙台市 (C) 1人	(D) 宮城県仙台市の市民 (E) (後方支援のためカウントせず)	0
---------------------	---	--	--------------------------------------	---

⑤上記の事業遂行に関して一般市民に対しての理解と支持を求めるための、機関誌、刊行物などの発行及びマスメディアなどを通じての広報活動

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	事業費の金額 (単位:千円)
広報強化	【目標】 IVYの活動を広く周知し、支援者を増やす 【活動】 1) SNSでの配信 2) ホームページの更新 3) プレスリリース 4) イベント・ワークショップの開催、イベントへの出展 5) IVYリーフレットの作成	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 全国 (C) 7人	(広報活動のため、受益者・数は特定できない)	0
ファンドレイジング	【目標】 ・IVYの活動資金、運営資金の確保 ・自己資金率の向上 【活動】 1) クラウドファンディングの実施 2) IVYサポーター(継続寄付)の周知 3) サポーター制度のチラシ作成 4) 募金箱の設置 5) イエローレシートキャンペーン 6) 書き損じハガキの収集	(A) 2023/4/1～2024/3/31 (B) 全国 (C) 7人	(広報活動のため、受益者・数は特定できない)	0

⑥国内外の災害救援活動 なし

⑦その他の事業 なし

(2) 収益事業 なし

以上